

75歳以上の
高齢者健康診査

新年度から大幅に拡充されます



現行75歳以上高齢者の約3割の
対象者が、新年度から約9割の高
齢者に健康診査券が届きます

日本共産党地方議員団として、滋賀県後期高齢者医療連合に、「健康診査の制限を改善し拡充すること」を求めて交渉しました。(2016年10月16日)

75歳以上高齢者の健康診査については、2015年度から「現に生活習慣病などで医療機関を受診している人は対象外」となり、公費による検診が大幅に制限されました。

これに対して日本共産党地方議員団は「厚生労働省の標準的な健診・保健指導プログラムで、75歳以上については、65歳以上74歳未満の者と基本的に同様、包括的な疾患管理が必要」としていることから、滋賀県後期高齢者医療連合に一貫して改善を求めてきました。

この改善要望に対して、「長期入院者と施設入居者のみ対象者から除外するが、それ以外は健診の対象にする」としました。これにより、これまででは後期高齢者医療の加入者の約3割しか対象であったものが、約9割まで拡大されることになりました。対象者については健康診査券が届けられます。これは粘り強い要望が実ったものです。引き続き、安心して医療が受けられる医療制度の拡充ががんばります。

赤旗「日曜版」 2022年11月6日号



自民派閥の巨額裏金疑惑 しんぶん「赤旗」がスクープ

自民党主要派閥の「パーティ券・巨額裏金疑惑」は自民党全体の金権事件です。

この発端は、しんぶん「赤旗」日曜版(2022年11月6日号)がスクープしたものです。金権腐敗政治に一切無縁の日本共産党だから追及できます。

底なしの自民党金権腐敗政治

これほどの疑惑事件にもかかわらず岸田首相は、「安倍派切り、大臣・副大臣の辞職」だけで乗り切ろうとしています。裏金疑惑は安倍派に限らず、岸田派、二階派、麻生派にも疑惑が広がっています。

まさに、自民党全体を覆う疑惑ですが、「徹底的な真相究明のための、閉会中の集中審査で関係者の証人喚問

を行い、「政治と金」の闇を明らかにすることが求められています。

そもそも政治腐敗の根源は、企業・団体献金、また抜け穴として「パーティ券購入による巨額の裏金づくり」があります。企業・団体献金を一切受け取らない日本共産党だからこそ、企業・団体献金廃止を求めることができます。

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2023年12月17日 No.512

市政・市議会へ
ご意見ご要望を
お寄せください

小菅康子 比江 668-3 (電話・FAX) 589-4971
工藤義明 小篠原 879 (電話・FAX) 588-1856
野並享子 北野 1-7-10 (電話・FAX) 587-0985
東郷正明 比江 864 (電話・FAX) 589-4158

ホームページをご覧ください

共産党野洲市議員団 検索